

居眠り運航撲滅キャンペーン

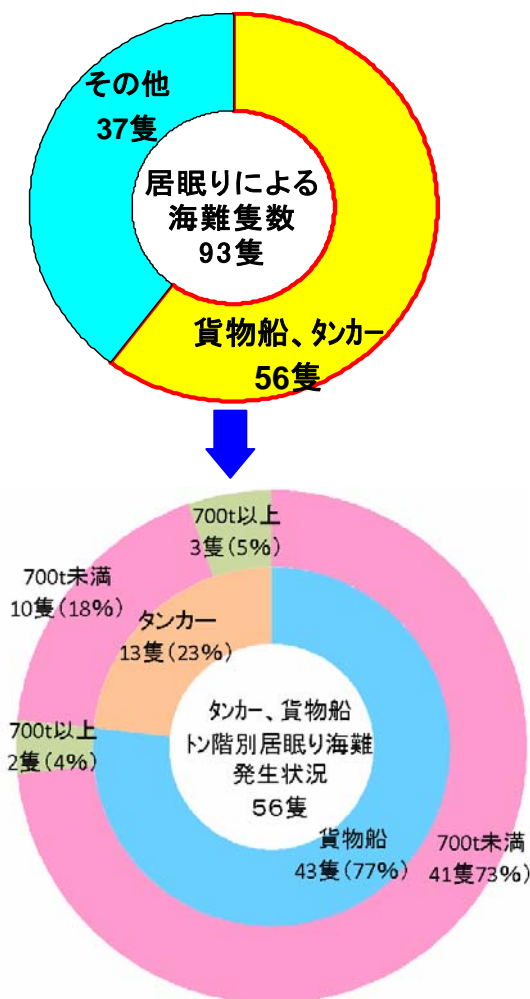
～居眠り海難ゼロをめざして～

(平成23年9月)

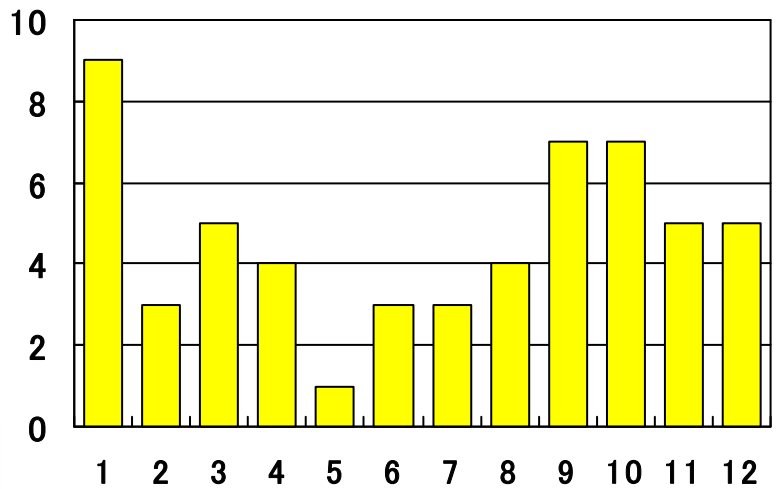
第六管区海上保安本部では、9月5日（月）から14日（水）までの10日間、少数乗組員により運航される内航貨物船及びタンカーを重点対象船舶として、「居眠り運航撲滅キャンペーン」を展開します。

瀬戸内海では、過労や睡眠不足等による居眠り運航を原因とする貨物船やタンカーの海難が、例年、秋以降に増加する傾向があることから、今治海上保安部では本キャンペーン期間中に、関係機関と連携のうえ、比較的少人数で運航される船舶への訪船指導等を実施し、居眠り海難ゼロをめざして、乗組員等に対し次の事項等について指導します。

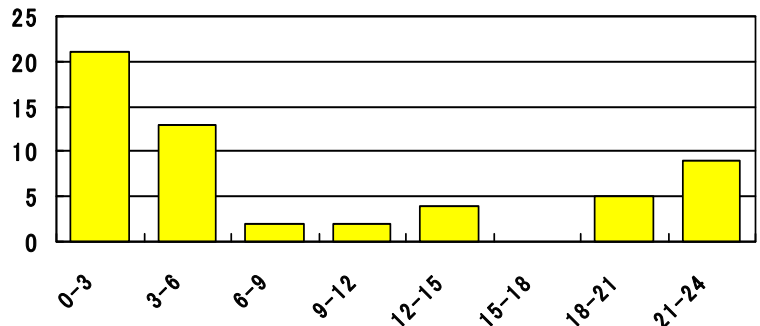
- 1 居眠り運航防止策の徹底及び常時適切な見張りの励行
- 2 自動操舵装置の適切な使用及びふくそう海域における自粛
- 3 船橋航海当直警報装置（居眠り防止装置）の有効活用
- 4 無理のない運航計画、配船計画の策定
- 5 船舶乗組員への適切な海難防止指導の実施



月別居眠り海難発生状



時間帯別居眠り海難発生状況



(平成18～22年第六管区海上保安本部管内調べ)



居眠り運航撲滅キャンペーン

H23.9.5～9.14

瀬戸内海・宇和海海難防止運動 ～居眠り海難ゼロをめざして～



【船橋当直者への注意事項】

● 居眠り運航防止策の徹底 と 常時適切な見張りの励行

1. 眠気を催したら～

- ① 椅子には腰を掛けず立直しましょう。
- ② 操舵室内の暖房の温度を下げ、時々窓を開けて換気しましょう。
- ③ ウィングに出て外気に当たしましょう。
- ④ 顔を洗ったり、体操するなど身体を動かしましょう。
- ⑤ コーヒーやお茶を飲んだり、ガムを噛んだりしましょう。

2. 操舵室から椅子を撤去、使用禁止とするのも効果的です。

3. 船橋・機関部当直者間で一定時間ごとにベルを鳴らしあったり、電話で話すなどをして居眠り防止に努めましょう。

4. どうしても眠い時には船長に報告しましょう。

居眠り海難

● 自動操舵装置の適切な使用 と 船橋航海当直警報装置の活用

1. 船舶ふくそう海域での自動操舵装置の使用は自粛しましょう。
2. 船舶ふくそう海域以外でも眠気を催したら手動操舵に切り替えましょう。
3. 船橋航海当直警報装置を常時作動させ、適度に身体を動かしましょう。

【船舶所有者・運航者への注意事項】

● 無理の無い運航計画、配船計画の策定等

1. 近距離、長距離の航海を組み合わせ、航海中に休息がとれるようにしましょう。
2. 「航海当直→入港作業→荷役例会い→出港作業→航海当直」と連続勤務にならないように指導しましょう。
3. 年間を通して、計画的に海難防止講習会等を実施しましょう。

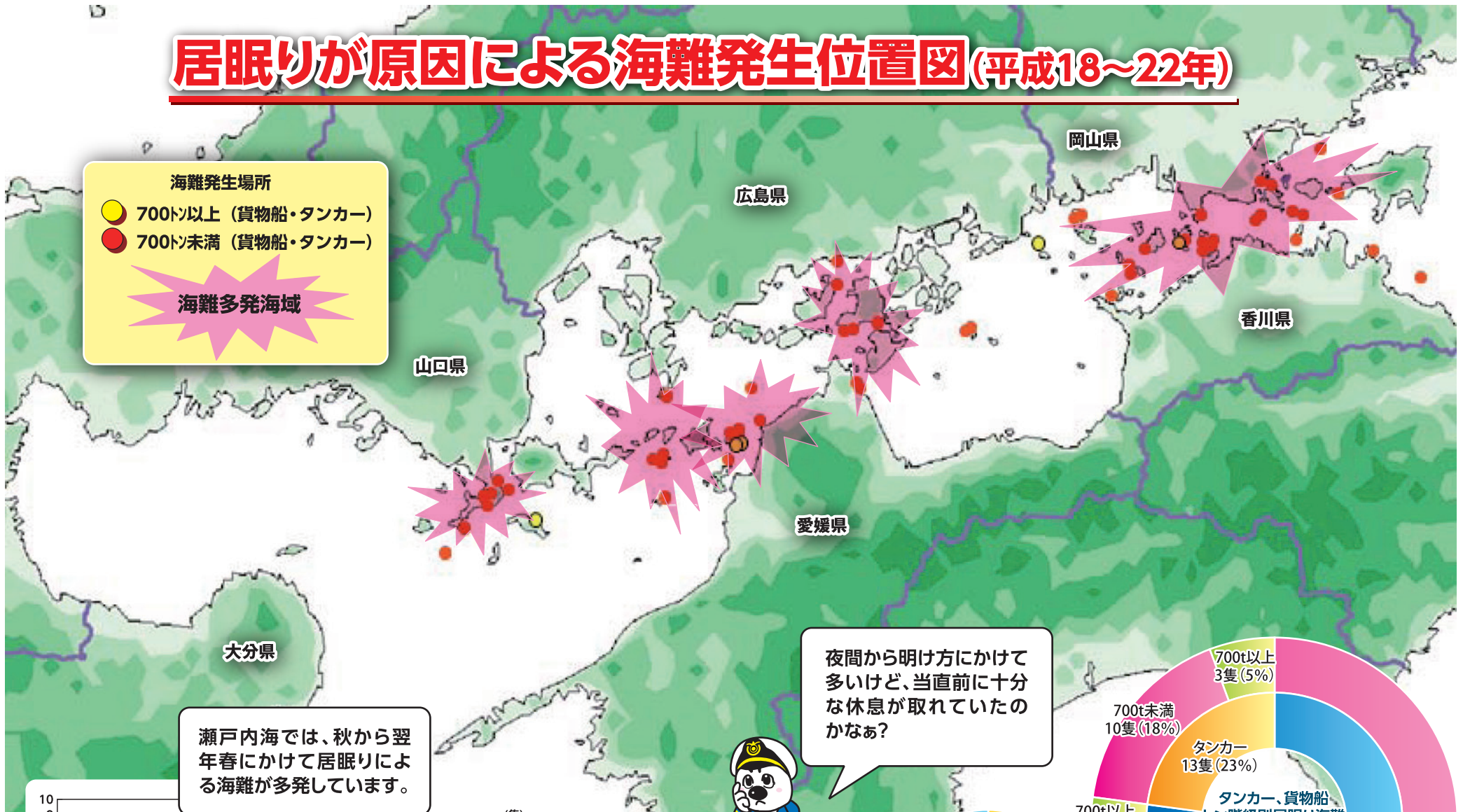
第六管区海上保安本部

海難防止強調運動瀬戸内海・宇和海地方推進連絡会議

(財)海上保安協会広島地方本部、(社)瀬戸内海海上安全協会、(社)瀬戸内海小型船安全協会、
中国総合通信局、四国総合通信局、中国運輸局、四国運輸局、広島地方海難審判所、運輸安全委員会広島事務所、
中国地方海運組合連合会、全日本海員組合中・四国支部、内海水先区水先人会、船員災害防止協会中国支部

*このリーフレットは、(財)海上保安協会広島地方本部の助成により作成しています。

居眠りが原因による海難発生位置図(平成18~22年)

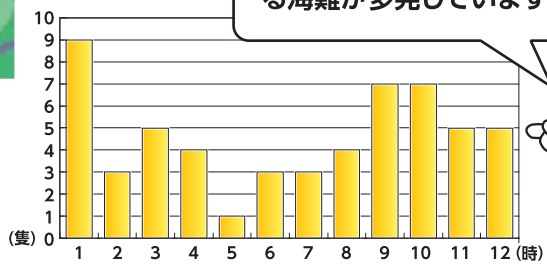


海難発生場所

- 700ト以上 (貨物船・タンカー)
- 700ト未満 (貨物船・タンカー)

海難多発海域

瀬戸内海では、秋から翌年春にかけて居眠りによる海難が多発しています。



夜間から明け方にかけて多いけど、当直前に十分な休息が取れていたのかなあ？

